

# レイアタツツカプセル 150mg

# レイアタツツカプセル 200mg

## 【この薬は？】

|                 |                                      |                                      |
|-----------------|--------------------------------------|--------------------------------------|
| 販売名             | レイアタツツカプセル 150mg<br>REYATAZ CAPSULES | レイアタツツカプセル 200mg<br>REYATAZ CAPSULES |
| 一般名             | アタザナビル硫酸塩<br>Atazanavir Sulfate      |                                      |
| 含有量<br>(1カプセル中) | 170.84mg (アタザナビルとして<br>150mg)        | 227.79mg (アタザナビルとして<br>200mg)        |

## 患者向医薬品ガイドについて

**患者向医薬品ガイド**は、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、「医薬品医療機器情報提供ホームページ」  
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

## 【この薬の効果は？】

- ・この薬は、抗ウイルス剤（HIVプロテアーゼ阻害剤）と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、HIV（ヒト免疫不全ウイルス）のプロテアーゼを阻害してウイルスの増殖をおさえます。
- ・次の病気の人に処方されます。

### HIV-1 感染症

- ・この薬は、他の抗HIV剤と併用されます。
- ・この薬を、自己判断で使用を中止したり、量を加減したりすると、病気が悪化したり効きにくくなるおそれがあります。指示どおりに飲み続けることが重要です。

## 【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にレイアタツツカプセルに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・肝臓に重度の障害がある人
- ・次の薬を使用中の入

リファンピシン、イリノテカン塩酸塩水和物、ミダゾラム、トリアゾラム、ベプリジル塩酸塩水和物、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、エルゴメトリンマレイン酸塩、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩、ピモジド、シンバスタチン、ロバスタチン(国内未発売)、ロミタピドメシル酸塩、バルデナフィル塩酸塩水和物、ブロナンセリン、アスナプレビル、アゼルニジピン、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン、ルラシドン塩酸塩、リバーロキサバン、リオシグアト、グラゾプレビル水和物、グレカプレビル水和物・ピブレンタスビル、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール、ランソプラゾール、ラベプラゾール、エソメプラゾール、ボノプラザンフマル酸塩）、アスピリン・ランソプラゾール、アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩

- ・次の食品を摂取している人

セイヨウオトギリソウ（St. John's Wort、セント・ジョーンズ・ワート）含有食品

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・心臓に伝導障害のある人
- ・血友病の人、および著しく出血しやすい人
- ・無酸症などの著しく胃酸が少ない状態が持続する人
- ・B型・C型肝炎の人
- ・腎臓に障害があり透析を受けている人
- ・使用前にトランスアミナーゼ（肝臓の状態にかかわる酵素）が明らかに上昇している人
- ・肝臓に軽度から中等度の障害がある人
- ・妊婦または妊娠している可能性のある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用してはいけない薬や飲食物〔リファンピシン（リファジン）、イリノテカン塩酸塩水和物（カンプト、トポテシン）、ミダゾラム（ドルミカム）、トリアゾラム（ハルシオン）、ベプリジル塩酸塩水和物（ベプリコール）、エルゴタミン酒石酸塩・無水カフェイン・イソプロピルアンチピリン（クリアミン配合錠）、ジヒドロエルゴタミンメシル酸塩、エルゴメトリンマレイン酸塩（エルゴメトリンF）、メチルエルゴメトリンマレイン酸塩（パルタン）、ピモジド（オーラップ）、シンバスタチン（リポバス）、ロバスタチン(国内未発売)、ロミタピドメシ

ル酸塩（ジャクスタピッド）、バルデナフィル塩酸塩水和物（レビトラ）、ブロナセリン（ロナセン）、アスナプレビル（スンベプラ）、アゼルニジピン（カルブロック）、オルメサルタン メドキシミル・アゼルニジピン（レザルタス）、ルラシドン塩酸塩（ラツータ）、リバーロキサバン（イグザレルト）、リオシグアト（アダムパス）、グラゾプレビル水和物（グラジナ）、グレカプレビル水和物・ピブレインタスビル（マヴィレット配合錠）、プロトンポンプ阻害剤（オメプラゾール（オメプラール、オメプラゾン）、ランソプラゾール（タケプロン）、ラベプラゾール（パリエット）、エソメプラゾール（ネキシウム）、ボノプラザンフマル酸塩（タケキャブ）、アスピリン・ランソプラゾール（タケルダ）、アスピリン・ボノプラザンフマル酸塩（キャブピリン）、セイヨウオトギリソウ(St.John's Wort,セント・ジョーンズ・ワート)含有食品]、併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

## 【この薬の使い方は？】

### ●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

[抗 HIV 薬による治療経験のない人の場合]

|      |   |
|------|---|
| 一回量  | ・レイアタツ 300mg とノービア*100mg<br>または<br>・レイアタツ 400mg |
| 飲む回数 | 1日1回食事中または食事のすぐ後                                |

\*：ノービア(成分名：リトナビル)

[抗 HIV 薬による治療経験のある人の場合]

|      |                          |
|------|--------------------------|
| 一回量  | ・レイアタツ 300mg とノービア*100mg |
| 飲む回数 | 1日1回食事中または食事のすぐ後         |

\*：ノービア(成分名：リトナビル)

### ●どのように飲むか？

かまずにコップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

### ●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。

気がついた時に食事とともに1回分を飲んでください。ただし、次に飲む時間が近い場合には一回とばして、次の時間に1回分を飲んでください。

### ●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら、使用を中止し、ただちに医師に連絡してください。

## 【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・この薬は、患者さんやそれに代わる適切な人が次の点について十分に理解できるまで説明を受け、同意してから使用が開始されます。
  - ・この薬はH I V感染症を根本的に治すものではありません。この薬を飲んでいても、病気が進行する可能性がありますので、身体状況の変化は全て医師に報告してください。
  - ・この薬を空腹時に使用すると抗ウイルス作用を発揮できないことがありますので、この薬を食事中または食事の後に飲んでください。
  - ・この薬の使用中は、医師の指示なしに飲む量を変えたり、使用を中止したりしないで、処方された用量を守ってください。
  - ・この薬は一部の薬と相互作用を起こすことがあるため、使用している薬をすべて医師および薬剤師に報告してください。
  - ・H I V感染症の治療薬による効果的なウイルス抑制は、性的接触による他者へのH I V感染の危険性を低下させることが示されていますが、その危険性を完全に排除することはできません。
  - ・H I V感染症の治療薬が、血液等による他者へのH I V感染の危険性を低下させるかどうかについては証明されていません。
  - ・この薬の使用中に眼球・皮膚の黄染がみられた場合には医師に報告してください。
    - ・この薬を長く飲んだ場合の影響についてはわかっていません。
- ・この薬の使用後、発疹があらわれたとの報告があります。一般に使用し始めてから3週間以内に発疹があらわれ、通常は使用継続中に2週間以内で消失します。重い発疹があらわれたり、持続する場合には、医師に連絡してください。
- ・H I Vプロテアーゼ阻害薬の治療中に、糖尿病の発症や悪化が起きたり、高血糖があらわれたり、中には糖尿病性ケトアシドーシス（吐き気、甘酸っぱいにおいの息、深く大きい呼吸）があらわれたという報告があり、定期的に検査が行われます。
- ・この薬と乳酸アシドーシス（頭痛、眠くなる、意識の低下）の危険性を増大させるH I V感染症の薬と一緒に使用した人において、重篤な乳酸アシドーシスや高乳酸血症により死亡した例が海外で報告されています。
- ・この薬を含めて、H I V感染症の薬を飲み始めた後、免疫力が回復し、日和見感染などに対する炎症反応（発熱、下痢など）があらわれたり悪化したりすることがあります。
- ・肝臓に重度の障害や肝炎等が起きることがあるので、定期的に肝機能検査が行われます。
- ・妊婦または妊娠している可能性がある人は医師に相談してください。
- ・授乳を避けてください。
- ・新生児、月齢3カ月未満の乳児には、核黄疸（かくおうだん）\*があらわれる危険

性があるので、この薬を使用することはできません。

＊核黄疸：ビリルビンによる脳の損傷

- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を飲んでいることを医師または薬剤師に伝えてください。

## 副作用は？

特にご注意ください重大な副作用と、それぞれの主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、それぞれの重大な副作用ごとに記載した主な自覚症状のうち、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。

このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

| 重大な副作用   | 主な自覚症状   |
|--|--|
| 重度の肝機能障害<br>じゅうどのかんきのうしょうがい                                    | 体がだるい、吐き気、食欲不振、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる、お腹が張る、急激に体重が増える、血を吐く、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）、意識の低下 |
| 肝炎<br>かんえん   | 体がだるい、吐き気、嘔吐（おうと）、食欲不振、発熱、上腹部痛、白目が黄色くなる、皮膚が黄色くなる、体がかゆくなる、尿の色が濃くなる                                  |
| 糖尿病、糖尿病の悪化及び高血糖<br>とうにようびょう、とうにようびょうのあつかおよびこうけつとう              | 体がだるい、体重が減る、喉が渇く、水を多く飲む、尿量が増える   |
| 出血傾向<br>しゅっけつけいこう  | 鼻血、歯ぐきの出血、あおあざができる、出血が止まりにくい   |
| QT 延長<br>キューティーえんちょう   | めまい、動悸（どうき）、気を失う   |
| 心室頻拍<br>しんしつひんぱく<br>(torsades de pointes を含む)<br>トルサード ド ポアン   | めまい、動悸、胸の不快感、気を失う  |
| 房室ブロック<br>ぼうしつブロック<br>(第一度～第三度 AV ブロック)<br>だいいちど～だいさんどエーブイブロック | めまい、気を失う、立ちくらみ、脈が遅くなる、息切れ  |

| 重大な副作用   | 主な自覚症状   |
|--|--|
| 皮膚粘膜眼症候群<br>(Stevens-Johnson 症候群)<br>ひふねんまくがんしょうこうぐん(スティーブンス・ジョンソンしょうこうぐん) | 発熱、目の充血やただれ、唇や口内のただれ、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する |
| 多形紅斑<br>たけいこうはん  | 円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、発熱、関節や喉の痛み           |
| 中毒性皮疹<br>ちゅうどくせいひしん  | 左右対称性に体に出る大小の赤い斑点                                    |
| 尿細管間質性腎炎<br>にょうさいかんかんしつせいじんえん  | 発熱、発疹、関節の痛み、吐き気、嘔吐、下痢、腹痛、むくみ、尿量が減る                   |

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。これらの症状に気づいたら、重大な副作用ごとの表をご覧ください。

| 部位  | 自覚症状   |
|-----|--|
| 全身  | 体がだるい、発熱、体がかゆくなる、体重が減る、出血が止まりにくい、むくみ、急激に体重が増える                         |
| 頭部  | めまい、気を失う、立ちくらみ、意識の低下   |
| 顔面  | 鼻血   |
| 眼   | 白目が黄色くなる、目の充血やただれ  |
| 口や喉 | 吐き気、嘔吐、喉が渇く、水を多く飲む、歯ぐきの出血、唇や口内のただれ、血を吐く                                |
| 胸部  | 動悸、息切れ、胸の不快感   |
| 腹部  | 食欲不振、上腹部痛、腹痛、お腹が張る   |
| 手・足 | 脈が遅くなる、関節や喉の痛み、関節の痛み   |
| 皮膚  | 皮膚が黄色くなる、あおあざができる、円形の斑の辺縁部にむくみによる環状の隆起を伴ったものが多発する、左右対称性に体に出る大小の赤い斑点、発疹 |
| 便   | 下痢、便に血が混じる（鮮紅色～暗赤色または黒色）   |
| 尿   | 尿の色が濃くなる、尿量が増える、尿量が減る  |

## 【この薬の形は？】

|       |  |  |
|-------|--|--|
| 販売名   | レイアタツカプセル 150mg  | レイアタツカプセル 200mg  |
| 形状    | <br>硬カプセル | <br>硬カプセル |
| 長径    | 19.0mm   | 21.2mm   |
| 短径    | 6.9mm  | 7.6mm  |
| 重さ    | 350mg  | 470mg  |
| 色     | キャップ：青、ボディ：淡青色   | 青色   |
| 識別コード | 3624   | 3631   |

## 【この薬に含まれているのは？】

|      |                              |                 |
|------|------------------------------|-----------------|
| 販売名  | レイアタツカプセル 150mg              | レイアタツカプセル 200mg |
| 有効成分 | アタザナビル硫酸塩                    |                 |
| 添加物  | クロスポビドン、乳糖水和物およびステアリン酸マグネシウム |                 |

## 【その他】

### ●この薬の保管方法は？

- ・直射日光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

### ●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分の方法について薬局や医療機関に相談してください。

## 【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。  
 製造販売会社：ブリストル・マイヤーズ スクイブ株式会社  
 (<http://www.bms.co.jp>)  
 メディカル情報グループ  
 電話：0120-093-507  
 受付時間：9：00～17：30  
 （土、日、祝日並びに当社休日を除く）